

# 子育て応援とうきょう広場2008の開催

## ◇パパサミット ～東京を世界一子育てしやすい街にしよう～



東京で子育てをする7か国のパパたちを登壇者に迎え、日本のパパがより主体的に子育てに取り組むためのヒントを探る「パパサミット」を開催。各国の子育て環境や世界のパパの子育て観などを3つのテーマで討論しました。

### 【テーマ1】ワーク・ライフ・バランスについて

日本では、サービス残業が多く、21時以降の帰宅が目立ちますが、それにより、仕事と生活とのバランスがとれない状況が多く見受けられます。そこで、世界のパパたちに、各国の状況やワーク・ライフ・バランスのコツを聞きました。

- 韓国でも、上司が帰るまで仕事を終われない雰囲気があり、サービス残業が目立ちますね。
- スウェーデンでは、16時には仕事を終えて保育所に子どもを迎えに行きます。
- まず1日のタイムスケジュールを設定し、効率的な仕事の進め方を心がけています。

### 【テーマ2】夫婦のコミュニケーションについて

夫婦関係は子育てに非常に大きな影響を与えます。日本では平日の会話時間が30分以下という夫婦が25%を超えているという調査結果も出ています。愛情表現豊かな世界のパパたちがどうやって良好な夫婦関係を維持しているか伺いました。

- 週に1回は、妻と二人だけで出かけて夫婦の時間を持っています。二人のコミュニケーションを保つ為の特別な時間です。
- 「ありがとう」や「お疲れ様」の言葉だけでなく、相手を気遣うアクションが必要だと思います。
- パパ、ママだけでなく夫と妻であることも忘れないように気をつけなくてはいいと思います。

### 【テーマ3】地域コミュニティの参画について

日本では、都市化、マンション化、あるいは残業時間が長くなることによってパパたちの地域への参画が薄らぎてきていますが、地域による子育ては子どもだけでなくパパたちにも好影響です。そこで、地域コミュニティの参画について皆さんに聞きました。



- ご近所さんの顔を知っておいた方が安心だし、誰がどこの子か知っておくために積極的に話しかけるようにしています

イベントの最後には、事前に一般公募した意見をもとにした「とうきょうパパ宣言」を全員一致で採択しました。

### ～とうきょうパパ宣言～

- 一、仕事も子育ても楽しみながら本気で取り組みます
- 一、ママとのコミュニケーションを大切にし、家族の支えとなります
- 一、子育ての喜びをみんなで分かち合います

